

双葉通信【第 187 回】(人生は旅人No.7) “ふくしまに恋をして 福島人に” 20230920
ラオスの風に吹かれて (暑かった)

9月14日から19日まで、タイとラオスへ行ってきました。成田空港⇒スワンナプーム空港（バンコック）はAir Asia、行きはバンコック⇒ウドンタニー、帰りはウボンラチャータニー⇒バンコックはNok Air, 共にLCC（格安航空会社）です。機内食も水も有料です。旅の目的は、タイとラオスの国境を陸路で越えることです。いくつかの失敗有り、そして多くの人達に助けられました。

3日目は、ナコンパノム（タイ）⇒タケク（ラオス）です。メコン川にかかる友好橋を国際バスで渡ります。ほとんどの人は、タイ人とラオス人でした。観光客は私だけです。どんなに空港で荷物を厳しくチェックしても、陸路のイミグレーションでは、荷物検査はありません。タイの出国審査では、長い行列ができていましたが、職員が私を外国人だと見て、隣のカウンターで、私のパスポートにスタンプを押して、特別に通してくれました。メコン川を挟んで両岸の人達は、船で行き来をして生活しています。国境とは、人間が後から引いたのです。

ラオスの国内を、タケク⇒パクセまで高速バスに乗りました。タケクのバスステーションでは、ビエンチャンから来たバスが、何台も引き返して出発しています。パクセ行きのバスは、12:00 発ですが、30分遅れて出発。ガイドブック（「地球の歩き方」）には、所要時間は6時間となっていましたが、実際には7時間30分かかる、パクセに着いたのは午後8:00 過ぎでした。原因の第一は、ラオスの道路は舗装されていません。土のままで。大きな水溜まりがあると、バスは反対車線を走ります。第二は、高速バスですが、乗客は運転手に言って、停留所ではなく自分の家の近くで降ります。店や目印が無くて野原なのに、どうして降りる場所が分かるのか、感心しました（感心する場合ではない、早く進んでくれ）。これでは、高速バスではなく路線バスです。

パクセはこじんまりとした良い街でした。私はトゥクトク（オート三輪）に乗って市場へ行ってみました。凄い人通りで活気があります。川魚やカエル、野菜や果物、肉などの店が並んでいます。生活の匂いがプンプンします。食堂もあります。日本のシャッター通り商店街は、いったい何なんだと思いました。

4日目、パクセ（ラオス）⇒ウボンラチャータニー（タイ）です。ツーリスト会社の国際バスで行きました。ホテルまでトゥクトクで迎えに来てくれて、集合場所で国際バスに乗り換えます。国境に川はないので、ラオスのイミグレーションで出国して、歩いてタイのイミグレーションで入国します。歩き方が分からないと思って、女性の人が一緒に行ってくれました。終点のバスステーションは雨でした。多くの人がタクシー乗り場にいましたが、並ばないで私がタクシーに乗って、運転手の人がホテルの場所が分からぬでいると、タイの青年が私の地図を見て、運転手にホテルの場所を教えてくれました。

今回の旅行では、多くの人から“alone?” “How old are you?”と聞かれました。また、私は高齢で左足が不自由なので、空港では、「車椅子を使うか」と聞かれました。また、チ

ケットカウンター や荷物検査では、並ばないで優先的に通してくれました。喜んでいいやら悪いやら！



【車よりもオート三輪が多いラオスの街並み（パクセ）】（2023年9月17日撮影・下も）



【商店街は日本ではシャッター通り、ラオスでは人通り（ダーオファン市場・パクセ）】